

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和 8 年度病害虫発生予察防除情報 第 2 号を發表します。

ネギアザミウマの発生数が多く、アイリス黄斑ウイルス（IYSV）による病害の発生も確認されています。今後、野菜類、花き類で被害が多くなる恐れがあるので、圃場における発生状況に注意して適切な防除指導をお願いします。

令和 8 年度病害虫発生予察防除情報 第 2 号

ネギアザミウマの発生状況と防除対策について

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 1 対象作物 | 野菜類（たまねぎ、ねぎ等）、花き類（ゆり、トルコギキョウ等） |
| 2 病害虫名 | ネギアザミウマ |
| 3 発生地域 | 県内全域 |
| 4 発生状況 | |

- (1) 本年は、冬季からたまねぎ予察圃場（早生品種）においてネギアザミウマ（写真 1）の発生数が平年より多く推移したため、令和 7 年度病害虫発生予察防除情報 第 10 号を 3 月 5 日に発表し、注意喚起を行った。
- (2) たまねぎ予察圃場（中生・晩生品種）においても、4 月以降、ネギアザミウマの密度が高く推移している。4 月下旬に実施した調査では、1 株あたりのネギアザミウマの成虫・幼虫の合計虫数は、加西市で 49.4 頭（過去平均 17.5 頭）、南あわじ市では 5.1 頭（過去平均 0.4 頭）と、平年を上回っている。
- (3) 県内の複数地域のたまねぎ圃場において、局所的にはあるが、早生品種に加えて中晩生品種においても、本種が媒介するアイリス黄斑ウイルス（IYSV）によるタマネギえそ条斑病の発生が確認されている。

5 今後の予想

今後、気温の上昇により本種の増殖に好適な条件となる。気象庁の近畿地方の 1 カ月予報（4 月 30 日発表）によると、気温は平年よりも高く推移すると予想されており、野菜類や花き類で、本種の多発や被害の拡大が予想される。

6 防除上の留意点

- (1) 本種は多発すると密度抑制が困難であることから、圃場内での発生状況をよく把握し、多発前の初期防除を徹底する。たまねぎやねぎでは、主に新葉が重なっている部分に生息

しているため、重点的に観察する（写真2）。収穫後は、周辺圃場への本種の分散を防ぐため、できるだけ速やかに残渣を処分する。

(2) 本種は広範な植物に寄生するため、圃場周辺の雑草でも発生する。雑草管理を行い、本種の圃場への侵入を防ぐ。

(3) たまねぎ、ねぎ、ゆり、トルコギキョウでは、本種が媒介するアイリス黄斑ウイルス(IYSV)による病害を生じる恐れがある（写真3～6）ため、注意が必要である。

詳細は、農作物病害虫・雑草防除指導指針の参考資料 3-4「ネギアザミウマの生態と防除」を参照する(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/hai shi nfile/ l i st/hyogo>)。

(4) 本種は、殺虫剤に対する抵抗性の発達が懸念されており、本県においても一部の系統の薬剤において、殺虫効果が低い事例を認めている。抵抗性獲得を避けるため、農作物病害虫・雑草防除指導指針の参考資料 1-6「農薬の作用機作」を参考に、同一系統薬剤を連用せず、系統の異なる薬剤をローテーションして使用する。

*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

*農作物病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>

*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

「兵庫県病害虫防除所」Xにて情報発信中。

フォローをお願いします。

Xアカウント (https://x.com/hyogo_boujoshou)





写真1 ネギアザミウマの成虫 (左) と幼虫 (右)



写真2 たまねぎ新葉の隙間に生息する成虫 (左) と幼虫 (右)



写真3 たまねぎにおける IYSV によるタマネギえそ条斑病の病徴 (矢印) と拡大した病徴 (右上)

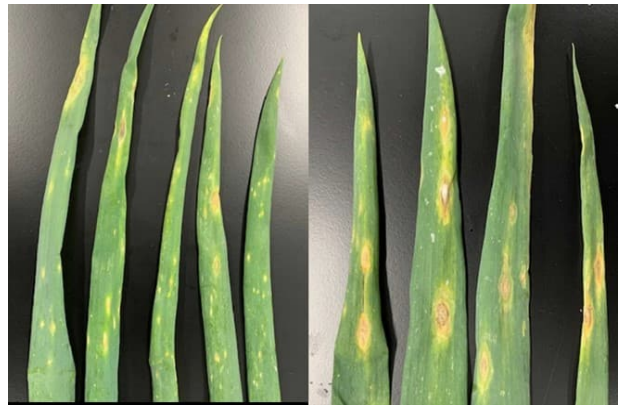


写真4 根深ねぎにおける IYSV によるネギえそ条斑病の病徴
(左: 初期症状、右: 後期症状)



写真5 ゆりにおける IYSV による病害の病徴
(左: 初期症状、右: 後期症状)



写真6 トルコギキョウにおける IYSV によるトルコギキョウえそ輪紋病の病徴
(左: 初期症状、右: 後期症状)